



富士市長

鈴木清見

明けましておめでとうございます。昨年、新市誕生三十周年という節目の年であり、諸行事に多くの市民の皆様のご参加を得て、意義深く送ることができました。

さて、ことしは二十一世紀を間近にして、急速に迫りくる高齢社会、少子化時代など、時代の変化を的確にとらえ、長期的展望に立ったまちづくりに取り組み、同時に今までの事業を点検し、より効率的に、また円滑に行われるよう見直す年でもあります。

どうか、ことしも市政への御支援、御協力をお願い申し上げます。

新春のごあいさつ



富士市議会議長

藤田章吾

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は新市誕生三十年目に当たる節目の年でした。ことしは、さらなる新しい出発の年です。

私たち市議会は、議会の権能を十分自覚し「富士山をシンボルに、みどりあふれる 文化と産業のまち」の実現のため、全力を注いでまいり所存でございます。

市民の皆様には、本年も市議会に対し、今まで以上の御指導、御協力を賜りますことをお願いいたします。



富士市立博物館

富士市立博物館は、昭和五十六年にオープン。富士市の歴史や文化、中心産業である紙などについての展示が常設されています。また、毎回テーマと趣向を凝らした企画展を初め、郷土の作家展や富士山写真展なども充実しており、昨年の六月には、入館者五十万人を突破しました。さあ、ことしの冬は、博物館でああなたの心と知性を温めてみませんか。



館蔵品展

二月一日～三月九日

曾我物語図会

作者・・・歌川広重

制作年・・・天保後期

内容・・・建久四年（一一九三）に起き、広く世に知られる曾我十郎・五郎兄弟のあだ討ち物語。

十郎・五郎の生い立ちから、見事、父の敵である工藤祐経を討ち果たし、本懐を遂げるまでを描いた、全三十枚に及ぶ浮世絵。

「東海道五十三次」で知られる歌川広重の作品。



布袋図

作者・・・白隠禅師

制作年・・・不詳

内容・・・掛け軸。

一六八五年、原（沼津市）に生まれ、日本全国を行脚しながら数々の書、山水画などを残した白隠禅師。

この作品は、七福神の一人として知られ、弥勒菩薩の化身とも呼ばれている「布袋」の円満の相を描いた掛け軸。



紙の旅（原稿）

作者・・・後藤清吉郎

制作年・・・不詳

内容・・・型染。

「紙の旅」とは、和紙をすく工程を型染でつづった本で、今回展示されるのは、その本の原稿。原稿の図案も、和紙に型染でつくられている。

作者の後藤清吉郎は、「富士の型染」の基礎を築き上げた人であり、「金唐和紙」の復元に精力を注いだことでも知られている。

※なめし革のかわりに和紙を使い、漆を塗るなどして仕上げた擬革紙。





東海道中栗毛弥次馬

作者・・・鈍亭魯文
 制作年・・・安政二年（一八五五）
 内容・・・「弥次郎兵衛」と「喜多八」の二人が、江戸の日本橋から京都までを旅する珍道中の物語。木版画による短編で、十返舎一九が書いた有名な「東海道中膝栗毛」のパロディー版と思われる。



秋景山水図

作者・・・鈴木香峰
 制作年・・・正確には不詳。幕末から明治前期と思われる。内容・・・掛け軸。
 ほぼ正方形の画面の中に、深山と水面をバランスよく配している。淡く置かれた朱や藍色が美しく、画面左右や中景の樹木に置かれた濃い黄と朱色は、画面を引き締めている。

作者の鈴木香峰は、吉原宿の出身で、吉原駅長を三十余年勤めた。引退後は画道に専念し、水墨画に彩色を施した山水画で名声を博した。



寺社参詣図屏風

作者・・・不詳
 制作年・・・不詳
 内容・・・民家の屋根がカヤぶきでふつくらとされていることや、山並みの起伏のあるかき方など、江戸末期の特徴をあらわしている。

人物は奈良絵本的な素朴な描写で、左図には、伊勢神宮や二見ヶ浦、右図の海のそばには岸和田城と思われる城があり、いろいろな風景の寄せ集めが描かれている。

館蔵品展 2月1日(土)～3月9日(日)

曾我物語図会、布袋図、「紙の旅」の原稿、秋景山水図など、博物館が所蔵する名品の数々を展示します。

第10回 郷土の作家展

漆畑勇司彫刻展 1月11日(土)～26日(日)

自然界の木や土を素材に、孤高な存在感を放つ彫刻。富士市出身の彫刻家、漆畑勇司さんが制作したすばらしい彫刻作品を展示します。

問い合わせ 市立博物館 ☎21-3380